

論語を通して学ぶ喜びを知る

— 學則得の心を読む —



令和
7年

11月29日(土) 13:30~

※開場は13:00

入場無料
申込不要

講師

やすおか さだこ
安岡 定子 氏

漢学者
論語講師



1960年東京都生まれ。二松学舎大学文学部中国文学科卒業。漢学者・安岡正篤の孫。現在、こども論語塾の講師として全国各地で講座を開催するほか、企業やビジネスマン向けセミナー、講演活動を行っている。『子や孫に読み聞かせたい論語』(幻冬舎)『新版 素顔の安岡正篤』(PHP研究所)『仕事と人生に効く成果を出す人の実践論語塾』(ポプラ社)『渋沢栄一と安岡正篤で読み解く論語』(プレジデント社)など、著書多数。安岡定子事務所代表。公益財団法人郷学研修所・安岡正篤記念館理事長。

「學則得」とは、高遠の進徳館で学び、後に明治の新教育の指導者として活躍した伊澤修二先生の言葉です。先生が郷里高遠に来られた際、ある人に「進徳館の教育を一言で表せば何と言いますか」と問われ、答えたのがこの言葉です。この言葉の意味は記録に無く、さまざまに解釈されて高遠の教育目標として仰がれてきています。

桜大学第4講座では、安岡定子先生を再度お迎えし、ご講演の中で、「學則得」の心についてわかりやすく解説していただきます。

会場 高遠町総合福祉センター やますそ

〒396-0211 長野県伊那市高遠町西高遠1644

※お車でお越しの方は、高遠町総合福祉センター やますそ
第1・第2駐車場をご利用ください。

